

新婚生活について

第2期OB 中島 崇浩

◆結婚生活2年目の変化

結婚してから丸1年が経過し、もう新婚とは言えないくらい結婚生活にも慣れてきました。この間に私たちの生活環境を変える1つ大きな出来事がありました。…残念ながら、『出産』ではありません。『転勤』です。私は約5年、妻は約10年過ごした「大阪」を離れ、2人とも慣れない土地「名古屋」で生活を始めることとなりました。

◆初めての『名古屋メシ』

せっかく名古屋に来たということで、引越しをして間もないうちは、『名古屋メシ』と言われる名物を一通り食べに出かけました。『名古屋メシ』として代表的なものを挙げると、「味噌カツ」、「ひつまぶし」、「手羽先」、「味噌煮込みうどん」、「あんかけスパゲッティ」、「きしめん」、「台湾ラーメン」等があります。こ



名古屋名物ひつまぶし

の中でもっとも美味しいと思ったものは「ひつまぶし」で、若干値段が高いですが『名古屋メシ』の中では最も食べています。その他は濃い味付けのものが多く、たまに食べると美味しいですが頻繁に食べたいと思うものではありませんでした。名古屋の新しい職場で食事や飲みに行く際も『名古屋メシ』を食べに行くことはほとんどなく、県外からお客さんが来たときに食べるものという感覚です。

◆名古屋の人は語尾に『みゃ〜』を付けて喋らなかった

名古屋に住んでみて驚いたことは、名古屋弁が想像と違っていたことです。『エビフリヤー』といった具合に、語尾に『みゃ〜』をつけて話す人には今のところ出会っていません。実際には、若干イントネーションが文節の真ん中のあたりにありますが、標準語に近い喋り方をしていました。敢えて標準語と違うところを挙げれば、『〜するで』という風に『で』の入る位置が特徴的に感じられるところです。

どちらかという愛知県の西部にあたる『三河』の地域の人の方がは語尾に『〜だら』『〜まい』をつけたり、イントネーションがきつかったりと特徴的でした。

◆2ヶ月間の単身生活

妻が大阪の仕事を退職する時期の都合で、名古屋に赴任してから最初の2ヶ月間は、先に私だけが名古屋に引っ越して単身生活をしていました。少しの間ですが独身気分に戻って遅くまで飲み歩いたり、友人を家に呼んで『どんちゃん騒ぎ』をしたりと楽しい2ヶ月間でした。新居のカウンターキッチンに酒を並

べてカクテル作りをする
趣味もできました。

楽しい生活ではありま
したが、外食・コンビニ弁
当・暴飲暴食の乱れた食生
活を 30 歳近い年でしてし
まったせいで体重も増え、
お腹が妊婦のように出て
きてしまいました。今は妻
と同居し、規則正しい食生
活に戻りましたが、一度出



名古屋の新居

てしまったお腹を凹ませることはなかなか難しくダイエットしようと悪戦苦闘しています。1 人暮らしの
乱れた食生活がもっと続いていたら、さらに取り返しのつかない体になっていたかもしれません。妻が健
康管理を考えた食事を用意してくれるありがたみを思い知ることができました。

◆ダブルインカムノーキッズ

名古屋に引っ越してから妻は新しい仕事に就いて、夫婦共働きの生活をしています。友人もほとんど
いない慣れない土地で、仕事をしながら家事の多くもしてくれている妻には大変感謝しています。今後も
できる限り家事を分担していきたいと思います。また、子供ができるまでは、夫婦で自由にでかけること
もでき、経済的にも比較的余裕があるので、今のうちに旅行や外食に出かけたいと思います。



OB・OG 総会 2008 でパラパラを踊る著者（左）